

令和5年度第1回JCHO東京蒲田医療センター地域協議会議事録

日 時：令和5年5月19日（金）14：00～14：40

場 所：JCHO 東京蒲田医療センター 健康管理棟2階大会議室

出席者：古川委員（社会福祉法人池上長寿園蒲田事業部門統括事業所長）

田中委員（南蒲田二丁目町内会町会長）

渡邊委員（南蒲田一丁目自治会会長）

増田委員（南蒲田三丁目町会町会長）

（JCHO 東京蒲田医療センター）

渡邊委員、宮澤委員、田村委員、宮崎委員、佐藤委員、菊地委員、村田委員、

圓館委員、三ツ木委員、田窪委員（書記）

司 会：JCHO 東京蒲田医療センター 副院長 田村晃

【議事内容】

1.院長就任の挨拶

渡邊院長より院長就任の挨拶を行った。

2.令和5年度 交代委員の挨拶

菊地事務部長、佐藤看護部長よりそれぞれ挨拶を行った。

3.当院の現状と今後の課題

1) 令和4年度の実績報告

圓館委員より資料に基づき次の事項について説明を行った。

①1日平均入院患者数 ②1日平均外来患者数 ③救急搬送患者数 ④手術件数

⑤紹介患者受入件数 ⑥主な紹介元医療機関 ⑦健康管理センター受診者件数

⑧訪問看護件数

2) 今後の課題

（渡邊院長）

新型コロナウイルス感染症の感染者がまた少しずつ増えてきている状況であるため、今の段階ではっきりしたことは申し上げられないが、面会制限は段階的に緩和していく方針である。

PCR 検査についても今後は自己負担が発生することとなったが、発熱者等疑いのある方にはできるだけPCR検査を受けていただき、結果確認後に診察に移っていただきたいというのが当院の希望である。PCR 検査を希望されない方についても他の患者と接触しないような体調不良者用のシートを準備しそちらから診察に移っていただくよう対応していく。

コロナ禍で受けた病院のダメージがまだ残っているが、一刻も早く回復できるように病院全体で頑張っていく所存である。地域の皆様もためらわず当院に来ていただけるようお願いする。当院としても入院・外来問わずお断りすることなく対応していく。

4.外部委員との意見交換

(古川委員)

紹介元医療機関の報告があったが、訪問診療医からの当院へ紹介する際にあたって何か特別に決まり事があれば教えてほしい。

(圓館委員)

訪問診療医からの紹介について特別な連携は行っておらず、紹介された患者の症状によって当院での受入の可否を判断している。

(古川委員)

老々世帯の場合、特に面会が少し緩和された状況では会いに行きやすい近くの病院を希望されることが多いため、こちらを案内できるかどうかというところでお聞きした。

(渡邊院長)

期待に応えられるように努力していく。コロナ禍では思うような対応ができなかったこともあるが今後は受け入れを強化していくのでよろしく願います。

(古川委員)

色々たくさん診ていただいて助かっている。

(渡邊委員)

以前家族が入院した際に3カ月入院してこれ以上の回復が見込めないときは他の病院を探すように求められて苦労した記憶があるが、今はそのようなことがあるのか。

(圓館委員)

地域包括ケア病棟については60日という国で決められたルールはあるが入院全体として3カ月といった縛りはない。当院としては入院当初から退院先を探したり退院の相談に乗ったりと、ご希望に添えるように先を見据えた介入を行わせていただいている。

(渡邊委員)

一丁目の住人もこちらにたくさん入院しているがみんな元気になって帰ってくる。入院するときもすぐに入れたと喜んでいた。

(渡邊院長)

患者の尊厳を大切にし、よりよい環境を提供できるように努力していく。

(古川委員)

感染症の対策がよくできていると感心している。感染症の専門看護師がいると聞いているが、そういった第一線の看護師を研修のために派遣することは行っているか。

(圓館委員)

コロナ禍以前は実施していた。感染症の他にも専門看護師がいるので要望があれば応えていきたい。

(渡邊委員)

コロナ禍ではできなかったが、以前は病院に呼ばれて色々な形で先生方に血液検査の結果用紙の見方等を教えてもらっていた。病院に来づらいと思っているような人も連れてこられたのでまたこれからやっていただけるのであればお願いしたい。

(田中委員)

地元には大きな蒲田医療センターといった病院があるから安心していただける。地域の具合の悪い方が入院をすぐにできるといい。

(渡邊院長)

コロナ禍でいろいろと問題があったが地域の皆様にうまく使ってもらえる病院になるよう努力してまいりますのでご要望があればお伝えいただきたい。

(菊地委員)

健康講座などで気になるテーマがあれば要望を出していただければそれに沿った対応をしていく。

(佐藤委員)

理学療法士も交えた簡単な機能低下に対する運動を自治会の皆様と小さな会を設けながら運動推進を行っていただけると考えておりますので、要望があれば是非ご相談ください。

(渡邊委員)

年齢的に足腰が弱くなっているので、自宅で簡単にできる運動(リハビリ)などを教えて頂く機会があると助かる。

(圓館委員)

今年度は地域の皆さまにご参加いただける公開講座を企画(実施)する所存です。

以上